東日本旅客鉄道労働組合 東京地方本部　East Japan Railway Workers Union・TOKYO Regional headquarters　東京地本ＨＰ

JREU TOKYO
業務部速報

2026.10.10 No.012
発行：ＪＲ東労組東京地本 業務部

「新宿事業本部の運営体制の見直しについて」（９月17日に）提案を受ける！その①

JR 東労組東京地本は、会社より表題の提案を受けました。
会社は提案理由として『グループ経営ビジョン「勇翔2034の実現に向け、効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築するとともに、沿線価値の向上と社員の活躍フィールドの拡大を行うことで、当社グループの持続的な成長につなげていくため』としています。

・実施機関…新宿事業本部（代々木駅・中野駅）
・実施内容
（代々木駅）
①代々木駅北口のお客さまサポートコールシステムの運用時間を一部時間帯から終日に変更
②柔軟な働き方を推進する作業ダイヤ新設する
（中 野 駅）
・西側に新たな玄関口となる西改札が開業
・実 施 日
代々木駅…2026 年 12 月 1 日 、 中 野 駅…2026 年 12 月 6 日

体制について

・代々木駅　一般交代3・一般変形1（－1徹、＋1日）

・中 野 駅　一般交代16・一般変形2（＋2徹）

提案時の主なやり取り

組合	会社
（代々木駅） 現行4つある泊まりの作業ダイヤのうち、無くなるのはどのダイヤか？	現行（初電2・終電2）から初電1・終電2になることを考えている。 初電２名から１名になるので、北口シャッターはタイマーで自動開扉する。
新設される日勤ダイヤ「柔軟な働き方を推進する作業ダイヤ」の目的は？	家庭の事情等で泊まり業務に制限がある社員、短時間勤務、育児介護やフレ適用社員も入れるダイヤである。
日勤ダイヤの時間は？	まだ検討中であるが9:00～17:20 分を考えている。

「柔軟な働き方を推進する作業ダイヤ」は

社員一人ひとりのライフサイクルや価値観の多様化に対応するためと説明！

その②へ続く